<Press Release>

2026年11月24日

《イベントレポート》Amazon Kids 報道向け発表会 開催

藤本美貴さん・庄司智春さんご夫妻がご登壇 親を悩ませる“デジタル育児のギモン”に本音トーク！
庄司さん『親も子どもも、学べて楽しいというのはまさに理想的なタブレット』と
ベネッセ「こどもちゃれんじ」と協業で実現した Amazon キッズタブレット しまじろう エディションに太鼓判
スペシャルゲストとしてしまじろうも登場

Amazon は、株式会社ベネッセコーポレーション（以下、ベネッセ）と、子どもたちの学びと成長を支える新たなビジョンを共有し、その実現に向けた取り組みを強化することを発表しました。その一環として、子ども向けサブスクリプションサービス「Amazon Kids+」*1内でお楽しみいただける、しまじろうの知育アプリなど計5タイトルを新たに開発・追加し、2027年1月下旬より提供を開始します*2。さらに、ベネッセの協力のもと、しまじろうデザインのカバー・壁紙を採用した「Amazon キッズタブレット 8 しまじろう エディション（ https://www.amazon.co.jp/Kids-Tab-8-Shi ）」を本日、11月24日（火）より販売開始しました。

この発表を記念し、3児の親である藤本美貴さん・庄司智春さんご夫妻をゲストに迎え、Amazon Kids 報道向け発表会を11月24日（火）に開催しました。ご夫妻は“デジタル育児のギモン”トークやキッズタブレットのポイント紹介を通じて、親目線でその魅力を語りました。会の終盤にはスペシャルゲストとしてしまじろうが駆けつけました。



素材ダウンロード URL　共通パスワード：kids1124
【画像素材】https://x.gd/In5LI 【動画素材】https://x.gd/E1A6g
※本件の紹介以外での動画・写真素材の使用、二次使用はご遠慮いただきますようお願いいたします。
登壇ゲストの肖像使用に関する注意事項
・有料媒体への掲載はお控えください。
・TVer/FOD/Abema 等や番組で放送した内容を Web へ掲載する場合は【5分以内の動画1本/掲載期間1ヵ月】とさせていただきます。
・各媒体の YouTube チャンネルへの掲載は、非収益化設定の上【5分以内の動画1本/掲載期間1ヵ月】とさせていただきます。
※上記は登壇ゲスト出演パートのみ該当いたします。

「子どもたちには楽しく学べるコンテンツを、保護者の皆様には安心を」Amazon とベネッセが Amazon Kids の取り組み強化を発表

アマゾンジャパン合同会社 Amazon デバイス Kindle・タブレット事業部 事業部長の後藤 喜章、同社 Amazon Kids+ Japan カントリーマネージャーの小林 丈展、ベネッセ「こどもちゃれんじ」事業責任者の中村 晋一良氏が順に登壇し、両社の取り組みを紹介しました。

はじめに登壇した後藤は、Amazon とベネッセが子どもたちの学びと成長を支える新たなビジョンを共有し、その実現に向けて両社の連携を強化していくことを発表しました。また、その取り組みの一環として、しまじろうデザインのカバーと壁紙を採用した「Amazon キッズタブレット 8 しまじろう エディション」を、本日11月24日（火）より販売開始することを紹介しました。後藤は、「Amazon Kids の理念は『遊んで、考えて、学ぼう』、こどもちゃれんじのコンセプトは『おもしろいでまなぼ！』です。近しい理念を持つ両社が、戦略的なパートナーシップのもと、さらに連携を深めていくこととなりました。その取り組みの一つの形として発売するのが、『Amazon キッズタブレット 8 しまじろう エディション』です」と、今回の協業の背景と新製品への期待を語りました。



続いて小林は、「Amazon Kids+」*1のペアレンタルコントロール機能の進化について紹介しました。まず、保護者向けアプリのデザインを一新したことに触れ、「お子さまにタブレットを渡す際、保護者の皆さまにとって大切なのは安心だと考えています。今回、保護者向けアプリのデザインを刷新し、ホーム画面を開くだけで、お子さまの利用状況や端末のステータスを一目で確認できるようになりました。また、曜日ごとに利用時間を設定できるようになりました」と説明しました。さらに、保護者の手元から利用時間を延長できる「ボーナスタイム」機能など、新たに追加された機能についても紹介しました。



また、しまじろうの最新映画の独占配信をはじめとする、これまでのベネッセとのコンテンツ連携にも言及。今回の戦略的パートナーシップの強化に伴い、アプリの共同開発にも取り組んだことを明かしました。その一例として、年齢別に合計約600問を収録した「しまじろうの ちいくワーク」を紹介し、「Amazon Kids+は、これからもベネッセ様と一緒に、お子さまの成長を支えていきたいと考えています」と今後の展望を語りました。

最後に登壇したベネッセの中村氏は、まず、教育におけるデジタル活用の広がりについて説明しました。未就学児においても、5～6歳になると毎日タブレット端末に何らかの形で接触している子どもの割合が2割を超えることに触れ、子どもたちを取り巻く学習環境の変化について紹介しました。そのうえで、「しまじろうが長年親子に寄り添ってきた思いを、デジタルの世界でもお届けしたい」と語り、「Amazon Kids+」に新たに加わる、しまじろうの知育アプリなど5タイトルを紹介しました。



また、Amazon との協業について、「Amazon 様は、子どもたちの学習環境を整えるうえで、ハードウェア・ソフトウェアの両面で素晴らしい技術をお持ちだと考えています。そうした力をお借りしながら、両社でよりよい

環境をお届けしたいと考えています。また、子どもたちや子育てをする保護者に対する両社のまなざしや価値観にも、非常に近いものがあると感じています」と、その意義を語りました。
今回提供するアプリは、思考力や表現力を育むベネッセオリジナルのアプリや、幼児向け通信教育「こどもちゃれんじ」のコンテンツをベースに開発したもので、2027年1月下旬*2より提供を開始する予定です。中村氏は、「ベネッセは、子どもたちにとって、そして子どもたちを見守る保護者にとって、最適なコンテンツを開発し続けていきたい」と、今後の展望を語りました。

藤本美貴さん・庄司智春さんご夫妻がご登壇
「子どもが楽しみながら、安心して学べるのは親としても最高です」ペアレンタルコントロールにご夫妻も驚き

続いて、藤本美貴さんと庄司智春さんご夫妻がそろって登壇。笑顔で「藤本と庄司です！」と会場を盛り上げました。最近の子どもの成長を感じた瞬間について、庄司さんは「昨日の勤労感謝の日に、子どもがお手紙を書いてくれたんです。『いつも私たちのために働いてくれてありがとう』『とーたんも困ったときは何でも言ってね』と書いてあって。仕事で困ったときには相談しようと思いました」と、会場の笑いを誘いました。
一方、藤本さんは、食事の際の姉妹のエピソードを紹介。「最近、長女が『今日のご飯はこれね』と言うと、次女が『やだ』と言うことがあるのです。でも、長女が『この間おいしいおいしいって食べていたじゃん。いいでょ』と声をかけてくれて。本当に長女がしっかりしてきて、ちょっと小さなお母さん役みたいに、間を取り持ってくれるんです」と、頼もしく成長した姿を語りました。
また、デジタルデバイスとの付き合い方について、お二人は「デジタルデバイスを通じて、親が教えていないことまで知ることができる機会がたくさんあるので、本当に良い形で活用していきたいと日々思っています」と話し、子どもたちの学びの可能性に期待を寄せました。





続いてのトークでは、ベネッセ教育総合研究所の調査をもとにした保護者の“ギモン”を紹介。
一つ目のギモンは「デジタルデバイスをひとりで使っているとき、何をしているか分からない」。これには、庄司さんが「制限が何もないタブレットとかだと、ちょっと怖いですよね。心配になっちゃう。簡単に操作もできるし、すぐいろいろ覚えてしまうから、我々もずっと隣にいることもできないし」と子どもがデジタルデバイスを使う際の気になる点をコメントしました。こうした不安に応えるのが、「Amazon Kids+」*1の「ペアレンタルコントロール」です。保護者は、子どもがどのようなアプリを使っているかなどを確認できるほか、利用できるコンテンツを設定できます。さらに、「Amazon Kids+」のコンテンツは広告や追加課金がなく、子ども向けに選ばれた安心・安全なコンテンツがそろっています。これを聞いた庄司さんは「めちゃめちゃありがたいし、しかも子どもが楽しんで、安心しながら学べるのは親としても最高ですよね」と驚きながらコメントしました。

二つ目のギモンは「デジタル端末の使いすぎや利用時間が心配。」という声。



藤本さんは「大人でも、気づいたらすごい時間が経ってしまっていることがあるので、子どもはなおさら、自分で時間をコントロールするのは難しいと思います」と、利用時間に関する保護者の不安に共感しました。こうしたお悩みにもペアレンタルコントロール機能によって、あらかじめ利用時間を設定しておくと、その時間になると自動で利用を終了できます。こうしたコンテンツについて、藤本さんは「親は何かを学ぶためにタブレットを使ってほしいと思う一方で、子どもはやっぱり楽しくないと取り組まないので、しまじろうが導いてくれるのはいいですね」とコメント。親と子どもそれぞれの視点から、楽しみながら学べることの魅力を語りました。庄司さんも「しまじろうが言っているから、子どももうれしいし、言うことを聞いてくれそう！」と話しました。

「まさに理想的なタブレットだと思います！」
ご夫妻がキッズタブレットの3つのポイントを親目線でチェック



その後は、パネルを使いながら「キッズタブレットの3つのポイント」を紹介するコーナーへ。**【①Amazon Kids+の豊富なコンテンツと、ペアレンタルコントロールによる安心・安全な利用環境】【②子どもの遊びや学びに寄り添うAmazon キッズタブレット しまじろうエディション】【③こどもちゃれんじとの協力体制強化で実現した、しまじろうの新しい知育アプリが Amazon Kids+に展開】**の3つのポイントについて、順にその魅力を紹介しました。

まず①では、子ども向け定額制サブスクリプションサービス「Amazon Kids+」*1について紹介しました。ベネッセのアプリを含む数千点*3の子ども向けコンテンツがそろい、保護者がお子さまの年齢や成長に合わせて利用できるコンテンツを設定できるほか、ペアレンタルコントロール機能も備えています。これを受け、藤本さんは「どんな内容を見せるかも気になりますし、でも逆に、見せようと思ったら数千点もあるというのもすごいですよね」とコメントし、コンテンツの内容や豊富なラインアップに関心を示しました。

続いて②では、子どもの遊びや学びに寄り添う「しまじろうエディション」を紹介しました。これを受け、庄司さんは「信頼と実績のベネッセさんですから。これは安心ですね」とコメントし、ベネッセが手掛けるコンテンツへの信頼感を示しました。藤本さんも「親側もこのくらいの年齢の子どもにはどのような内容が適しているのか、分からないこともあるので、ベネッセさんが関わっていることで分かりやすいですし、親も一緒に学べるのかなと思います」と話し、子どもの年齢や成長に合ったコンテンツが用意されていることへの期待を語りました。

さらに③では、こどもちゃれんじとの協力体制強化によって新たに開発されたしまじろうの新しいアプリが「Amazon Kids+」に展開予定であることを紹介されました。これを受け、藤本さんは「うれしいと思います。本当に小さい頃からしまじろうと一緒に育ってきた子どもたちもたくさんいるので、その延長線上に、タブレットにもしまじろうがいるというのはすごくいいですよね」とコメント。庄司さんも「自分だけのタブレットという特別感もありますね」と話し、しまじろうと一緒に学べることや、専用タブレットならではの魅力を語りました。

3つのポイントを確認したお二人。藤本さんは「ただ楽しむだけじゃなくて、しっかり学べるっていうのはありがたいですね」とコメント。庄司さんも「親側も子ども側も、学べて楽しいというのはまさに理想的なタブレットだと思います！」と話し、楽しみながら学べることへの共感を示しました。
最後に、「しまじろう エディション」は、子どもにとって毎日がより楽しくなる「自分だけの特別な一台」であるとともに、保護者にとっても子どもの成長を安心して見守ることができるデバイスであることを紹介し、トークセッションを締めくくりました。

藤本美貴さん・庄司智春さんが今年1年の子育てを漢字一文字で振り返り
庄司さんは「踊」、藤本さんは「生」と回答

今年1年の子育てを漢字一文字で表すと、庄司さんは「踊」と回答。その理由について、「最近は家族5人でダンスパーティーをしてから寝る、というルーティンがあるんです。子どもたちがママや、とーたんの真似をしながら、毎日テンション高く踊っています」と説明。さらに、「日々、あれしなさい、これしなさいと注意することも多くなりますが、こういう時間を大切にすると家族みんなが笑顔になるなと感じています」と話し、微笑ましい日常を明かしました。
一方、藤本さんは「生」と回答。「子育てをしていると、今日も無事に一日が終わったな、今日も無事に朝が始まったなと思うんです。子どもたちを無事に生かせていることにほっとする毎日です」と話し、さらに「がむしゃらに必死に生きています」と続け、日々の子育てに向き合う思いを語りました。





しまじろうがサプライズで登場！
「子どもたちは、しまじろうと一緒に育ってきた」お二人が思い出を語る

さらに、「しまじろう エディション」の魅力を伝えるスペシャルゲストとして、しまじろうがサプライズ登場！庄司さんが「ミキティー！」ならぬ「しまじろうー！」と呼びかけ、藤本さんとともにハイタッチを交わしながら、笑顔で迎えました。藤本さんは、しまじろうとの思い出を振り返り、「子どもが小さい頃に初めてこどもちゃれんじを始めたとき、しまじろうのパペットが欲しくて申し込むくらい、親の私も熱い気持ちがありました」とコメント。



庄司さんも「子どもたちも、小さい頃からしまじろうと一緒に育ってきています。本当にしまじろうに支えられていると思います」と話し、家族にとって身近な存在であるしまじろうへの思いを語りました。
会のクロージングでは、お二人から「しまじろう エディション」への期待や、親としてのメッセージが寄せられました。庄司さんは「安心して子どもが学べる環境があると知ることができたので、これを機会にぜひ皆さんにもこのコンテンツを利用していただき、楽しく学んでほしいと思います」とコメント。藤本さんも「小さい頃からしまじろうと一緒にたくさん学んできた子どもたちも多いと思います。親も安心できて、子どもたちも楽しめるというのは本当に大切なことだと思うので、ぜひ皆さんに使ってみてほしいです」と呼びかけました。お二人からの温かいメッセージとともに、終始和やかな雰囲気の中、発表会は幕を閉じました。

新製品・新サービスについて

▼Amazon キッズタブレット 8 しまじろう エディション

価格：41,980円（税込）*4　仕様：8.7インチ・しまじろうデザイン カバー付属
販売開始：2026年11月24日（火）　URL：https://www.amazon.co.jp/Kids-Tab-8-Shi
特徴：ベネッセの協力のもと、しまじろうデザインのカバー・壁紙を採用。子どもにとって毎日がより楽しくなる「自分だけの特別な一台」、保護者の皆様にとって、子どもの成長を安心して見守ることができるデバイスです。

▼「Amazon Kids+」*1 で展開予定の「しまじろうの知育アプリ」（2027年1月下旬提供開始予定*2）

思考力や表現力をはぐくむベネッセのオリジナルアプリや、幼児向け通信教育「こどもちゃれんじ」のコンテンツをベースとしたアプリ、合計5タイトルを提供します。

▼「Amazon Kids+」について

「Amazon Kids+」は、児童書、知育コンテンツ、ビデオ、ゲームなど、年齢に応じて楽しめる数千点*3のコンテンツを提供しているお子様向け定額サブスクリプションサービスです。プライム会員のお客様は月額780円、プライム会員以外のお客様は月額980円で利用いただけます。日本では、Amazon キッズタブレットでお子様向け書籍、ビデオ、学習用アプリやゲームなど、数千点のキッズコンテンツをお楽しみいただけるほか、お子さま向け電子書籍リーダーの Kindle キッズモデルを含めた Kindle シリーズでは2,000冊以上*3の人気の電子書籍、ストリーミングプレーヤーの Fire TV シリーズではアニメや映画、歌番組、キッズカラオケなどをより大きな画面で楽しんだり、家族一緒に視聴したりすることが可能です*5。

▼「Amazon キッズタブレット」について

Amazon キッズ タブレットシリーズ」は、Android OSを搭載でGoogle Playストア*6に対応し、かつ高解像ディスプレイを搭載した高速な子ども向けタブレットです。数千点の豊富で厳選されたキッズコンテンツが楽しめる子ども向けサブスクリプションサービス「Amazon Kids+」に加えて、Google Playストアから提供される200万点を超える*7アプリの利用が可能です。また、お子さまの成長や好みに合わせてお選びいただくコン

テンツは、Amazonのペアレンタルコントロールのもとで、安心して追加・利用いただくことができます。なお、「Amazon キッズ タブレットシリーズ」には、「Amazon Kids+」*1が1年分、専用の保護ケース、ペアレンタルコントロール機能が付属します。

*1「Amazon Kids+」は子ども向けのオールインワンの定額サービスです。「Amazon キッズタブレット」に付属する「Amazon Kids+」は、最初の1年間は追加利用料なしでお楽しみいただけます(その後有料期間へ自動更新)。
*2 出荷開始予定日は変更になる場合があります。
*3 本日時点における数です。
*4 本日時点における Amazon.co.jp での販売価格です。
*5 ご利用のデバイスによって体験できるコンテンツは異なる場合があります。各コンテンツやサービスの利用には別途登録・契約や料金が必要な場合があります。
*6 Google Play ストアのご利用には Google アカウントの作成が必要です。保護者は Google ファミリーリンクを通じて、お子さまが利用できるアプリを個別に許可・管理いただけます。一部のアプリのご利用には、別途購入や登録が必要な場合があります。
*7 アプリ数は Google Play ストアで提供されているアプリの総数を指します。すべてのアプリがお子さまのプロフィールでご利用いただけるものではありません。

「こどもちゃれんじ」について (https://shimajiro.benesse.ne.jp/)
1988年に開講した「こどもちゃれんじ」は、育ちに合った遊び・学びで、おうちの方をサポートし、子どもの可能性を広げる商品・サービスを提供し続けています。ブランドキャラクター「しまじろう」と一緒に豊かな体験を通して未来を切り開く力を育む0～6歳向け教材のほか、英語教材、テレビ番組、コンサートなどの成長を支援する商品・サービスを展開しています。2026年には「しまじろうパペット」の提供開始から30年目の節目の年を迎え、「ハンドパペットを持った人を写した最大のオンラインフォトアルバム」でギネス世界記録™にも認定されました。

Amazon について
Amazon は4つの理念を指針としています。お客様を起点にすること、創造への情熱、優れた運営へのこだわり、そして長期的な発想です。Amazon は、地球上で最もお客様を大切にする企業、そして地球上で最高の雇用主となり、地球上で最も安全な職場を提供することを目指しています。カスタマーレビュー、1-Click 注文、パーソナライズされたおすすめ商品機能、Amazon プライム、フルフィルメント by Amazon(FBA)、アマゾン ウェブ サービス(AWS)、Kindle ダイレクト・パブリッシング、Kindle、Career Choice、Fire タブレット、Fire TV、Amazon Echo、Alexa、Just Walk Out technology、Amazon Studios、気候変動対策に関する誓約(The Climate Pledge)などは、Amazon が先駆けて提供している商品やサービス、取り組みです。Amazon について詳しくは Amazon Newsroom(http://amazon-press.jp)および About Amazon (http://www.aboutamazon.jp)から。

本件に関する報道関係者様からのお問合わせ先
「Amazon Kids 報道向け発表会」PR 事務局（株式会社マテリアル）
TEL：03-5459-5490 FAX：03-5459-5491 E-mail：bp1@materialpr.jp
［担当］深谷（070-3874-4264）、小林（080-5533-1472）